

税理士試験 Q&A

— 税理士になるには？

編集部

はじめまして、『会計人コース』のクマ編集長です。

本誌は、税理士試験をはじめ、会計士試験や簿記検定の受験生をサポートする受験雑誌です。本号から2019年税理士試験の合格を目指し、1年連載がスタートします！早速、本号から「合格」を目指し、一緒に勉強していきましょう。なお、独学の方にも、専門学校を利用する方にも役立つ情報が満載でお届けしていきます。ぜひ、ご活用ください。



実は「税理士試験」に興味をもって本誌を手にしたが、よく試験のことを知らない、何から手をつければよいのかわからない…などと思っている方はいませんか？ そう思っても大丈夫！本稿では「税理士試験」についてQ&A形式で少しでもあなたの疑問を解消していきます。

「税理士試験」ってなに？

本誌を手にした時点で、「税理士」については多少なりともすでにご存じのはず。「将来は独立開業して自分の力で稼ぎたい」、「今より条件のよい職場で働きたい」、「手に職をつけたい」など興味をもたれた理由はそれぞれだと思います。そこで、まずは税理士試験についてご紹介していきます。すでにご存じの方も、少々お付き合いください。知らなかった発見があるかもしれませんよ。

① 「税理士」になる方法は？

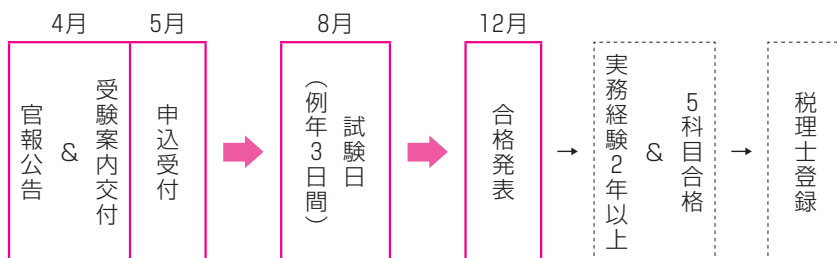
まず、税理士になるには、3つの方法があります。1つ目は、**税理士試験（5科目または一部免除）に合格すること**です。これが、もっとも一般的な方法だと思います。5科目合格といっても、5科目全部に合格するか、大学院にいて会計科目・税法科目の一部免除を受けて5科目合格とする方法などがあります。大学院進学についての詳細は、次号10月号でご紹介します。

2つ目は、**公認会計士あるは弁護士の資格を有すること**です。これらの資格は、それぞれの試験に税務に関する内容が含まれているため、要件をみたし税理士登録をすれば「税理士」を名乗ることができます。

3つ目は、**税務署等で国税従事者として勤務した経験があること**です。税務署OB税理士といわれ、一定年数以上国税庁や税務署に勤めた税金のスペシャリスト！ 国の財政基盤を支える仕事に従事したのち、要件をみたせば税理士試験を免除されます。

2 税理士試験っていつ行われるの？

税理士試験は年に1回、例年8月に行われ、連続3日間で実施されます。第68回の本試験日程は平成30年8月7日（火）～9日（木）です。



3 税理士試験の内容は？

試験内容かというと、筆記試験で科目数は計11科目あります。この中から会計科目に2科目、税法科目に3科目、計5科目に合格することで官報合格となります。ちなみに官報合格というのは、「官報」に受験番号と氏名が掲載されるので、「官報合格」といいます。

【科目一覧表】

合格の基準点は各科目とも満点の60%です。

会計科目（2科目） 必須科目	簿記論 財務諸表論	簿記論・財務諸表論の2科目に合格しなければなりません。
税法科目（9科目） 選択必須科目	法人税法 所得税法	法人税法・所得税法のどちらか1科目は合格しなければなりません。
選択科目	相続税法 消費税法／酒税法※ 国税徴収法 住民税／事業税※ 固定資産税	税法科目は法人税法と所得税法を選択必須科目の合格とあわせ3科目に合格しなければなりません。 ※ 消費税法と酒税法、住民税と事業税はどちらか1科目しか受験できません。

この表を見ても、ひと目で科目が多いことがわかりますね。また、どの科目が合格しやすいのか、試験範囲が広いのかなど、疑問な点はいくつもあると思います。実際のところ、どの科目を受験しようかと迷ってしまう受験生は多いです。科目によって特徴はさまざまですので、本誌連載等を読んで参考にしてみましょう。

次号では、今年の本試験の分析を掲載する予定です。受験を検討しているのであれば、最近の傾向がわかるので参考にしてみることをおすすめします。

うわぁ～税理士試験の科目ってこんなにあるんだ！
どの科目を受験しようか迷っちゃうね…。



4^Q 試験には5科目一気に合格する必要があるの？

いいえ、税理士試験は一気に受験および合格をする必要はありません。現実的に5科目一気に受験するとなるとかなり厳しい状況になるでしょう。ここ何年もの間、一度に5科目合格した受験生はいませんので、それがどれだけ難しいことかわかりいただけるかと思います。そこで、税理士試験には他の試験にはない特徴があります。

特徴1 試験科目を選べる

必須科目以外は難易度や自分の得意分野など考慮して選ぶことができる「選択制」です。

特徴2 科目合格は一生モノ

税理士試験は、一度の受験で5科目すべてに合格しなくてもよい「科目合格制」です。また、一度科目に合格すると、その合格科目は一生有効です。毎年1科目ずつ受験する人や2科目まとめて受験する人など受験の仕方はさまざまです。

「税理士試験」を受けるには？

5^Q 受験資格はどうなっているの？

誰でも受験できる試験ではなく、受験資格が必要になります。受験資格は大きく3つに分けられます。

① 「学識」による受験資格

→ 大学または短大の卒業生で、法律学または経済学を1科目以上履修している 等

② 「資格」による受験資格

→ 日本商工会議所主催簿記検定試験1級*あるいは全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級*の合格者

* 日本商工会議所主催簿記検定試験1級、以下「日商1級」とする。

全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級、以下「全経上級」とする。

③ 「職歴」による受験資格

→ 定められた業務に一定年数従事した者

とくに、「学識」や「職歴」による受験資格はさらに細かく定められています。

6^Q 受験資格ある？ ない？

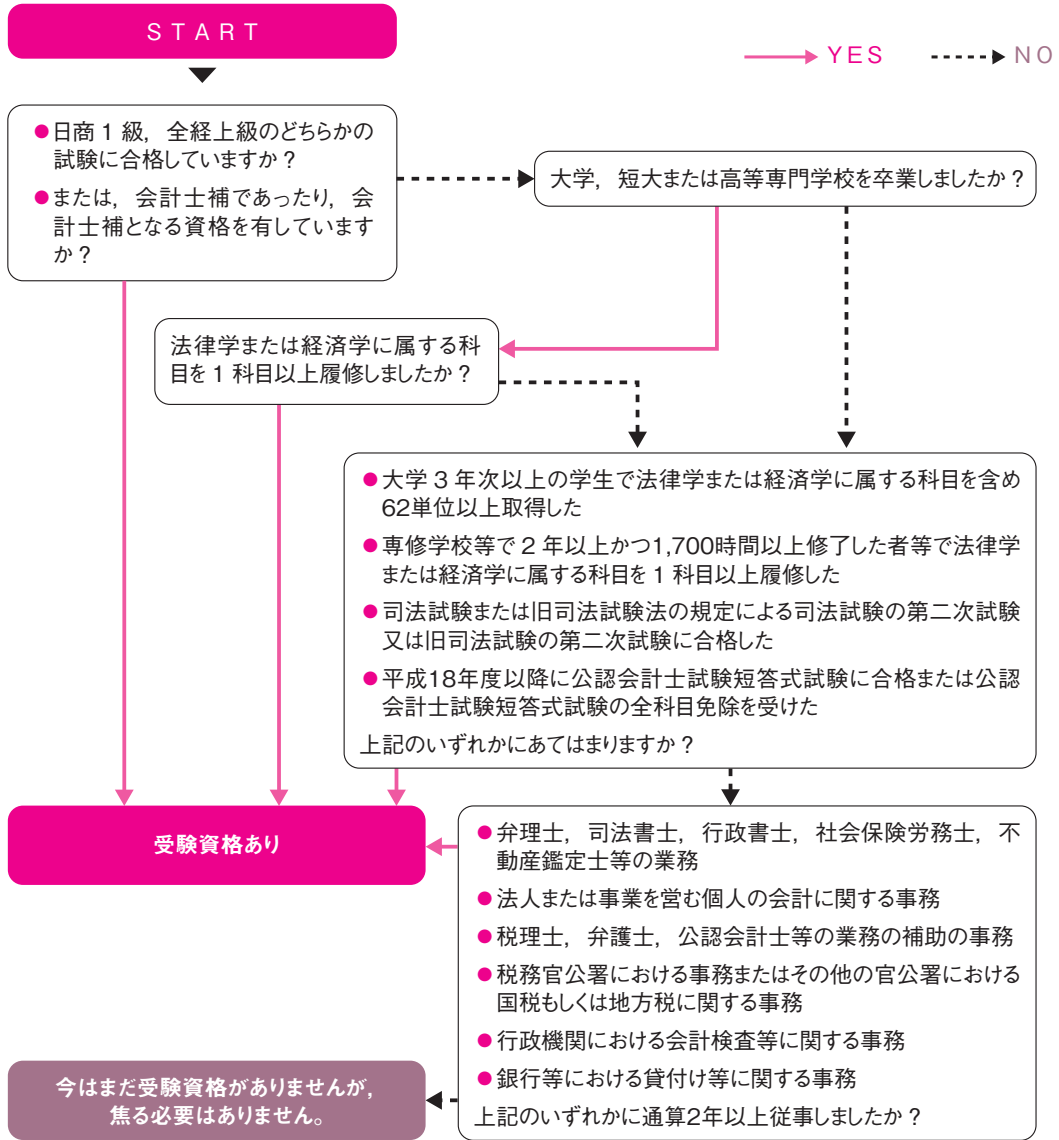
「学識」「資格」「職歴」による受験資格といってもわかりにくいと思いますので、次頁の表で受験資格があるか確認してみましょう。



税理士試験には受験資格が必要なんだ！

「資格」による受験資格はわかりやすいけど、「学識」「職歴」による受験資格といわれても…よくわからないなあ。

私にも受験資格あるのかな～？



上記の表で受験資格についてはある程度把握できましたか？ これ以外にも国税審議会より受験資格に関して個別認定を受ける場合もあるそうですので、詳細は国税庁ホームページで確認しておくことをオススメします。

これまで税理士試験についてサクッと紹介してきましたが、いかがでしたか？ 本稿で少しでも試験に関する疑問が解消できれば幸いです。

また、受験資格がないからとあきらめなくても大丈夫。日商簿記検定、全経簿記検定の受験を検討してみたいはいかがでしょうか？ 税理士試験の試験範囲でもありますので、将来税理士試験を受験されるのであれば、学習に役立つはず。これらの試験は年3～4回あり、チャンスも多いので力試しで受験する方もいますし、税理士試験を勉強しているのだから、資格を取っておいて損はないと受験される方もいます。まずは、チャレンジしてみましょう！